A red, stylized, three-dimensional figure resembling a person or a character, positioned behind the main title text. It has a rounded head with a small antenna-like protrusion, a torso, and two thick, curved legs.

2003年度 決算説明会

2004年5月24日

株式会社東京放送

www.tbs.co.jp

出席者紹介

代表取締役社長

常務取締役

常務取締役

司会 経営企画局長

井上 弘

財津 敬三

城所賢一郎

山口 慎彌

2003年度 期末決算の説明

常務取締役 財津敬三

連結会社一覧

(株)東京放送 (TBS)

【放送事業(17社)】

(株)TBSラジオ・アンド・コミュニケーションズ
(株)TBSエンタテインメント
(株)TBSスポーツ (株)TBSライブ
(株)TBSサービス (株)TBSビジョン
(株)東放制作 (株)ペック (株)アックス
(株)プロカム (株)赤坂ビデオセンター
(株)ドリマックス・テレビジョン
(株)赤坂グラフィックスアート
(株)サウンズアート
(株)エフ・アンド・エフ
(株)テレコム・サウンズ
TBS International, Inc.

【不動産事業(5社)】

(株)緑山スタジオ・シティ
(株)TBS会館 (株)TBS企画
赤坂熱供給(株)
(株)TBSサンワーク

【その他事業(6社)】

(株)日音 (株)TBSプラザ
(株)TBSメディア総合研究所
(株)ティ・アール・シー
(株)グランマルシェ
(株)横浜ベイスターズ

【持分法適用(4社)】

(株)BS-i (株)トマデジ
(株)東通 (株)ティ・エル・シー

連結決算のハイライト

増収増益（経常利益）・過去最高の売上高
放送事業の**収入減**を
その他事業の**収入増**が上回る
事業局売上は**初の200億円台**
不動産部門は再開発進行で**減収減益**

連結損益計算書

(単位:百万円)

	04年3月期			03年3月期		
	金額	前年比	増減率 (%)	金額	前年比	増減率 (%)
売上高	295,015	175	0.1	294,839	3,584	1.2
営業利益	25,271	944	3.9	24,326	6,915	22.1
経常利益	23,903	863	3.7	23,039	6,299	21.5
当期純利益	4,076	6,522	61.5	10,599	4,052	27.7

連結セグメント別業績

(単位:百万円)

	売上高	前年比	営業利益	前年比
放送事業	257,386	1,431	18,328	1
不動産事業	2,864	1,074	435	321
その他事業	34,763	2,680	6,406	1,073

連結貸借対照表

(単位:億円)

	04/3	03/3	前年比	増減率 (%)		04/3	03/3	前年比	増減率 (%)
流動資産	1,448	1,525	77	5.1	流動負債	712	732	20	2.8
					固定負債	855	704	150	21.4
固定資産	3,397	2,911	485	16.7	負債合計	1,567	1,437	130	9.1
					少数株主 持分	17	17	0	1.2
					資本合計	3,261	2,982	278	9.3
資産 合計	4,846	4,437	408	9.2	負債/少 数持分/ 資本合計	4,846	4,437	408	9.2

備考： 期末有利子負債残高 44,747 (4,750) (単位:百万円)

連結キャッシュフロー実績

(単位:百万円)

	04/03	03/03	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,075	23,368	4,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,412	7,192	13,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,563	11,624	5,060
現金及び現金同等物増加額	7,965	4,495	12,460
現金及び現金同等物期末残高	57,530	65,495	7,965

分社別業績

(単位:百万円)

	R & C	エンタ テインメント	ライブ	スポーツ
売上高	15,765 (369)	23,434 (2,082)	13,984 (797)	9,383 (1,735)
営業利益	1,007 (317)	8 (8)	228 (38)	271 (188)
経常利益	1,010 (309)	35 (13)	233 (52)	329 (142)
当期利益	497 (205)	55 (0)	119 (35)	158 (89)

(前年比)

BS- i業績

(単位:百万円)

	ビーエス・アイ	前年比
売上高	4,638	302
営業利益	5,115	1,744
経常利益	5,104	1,755
当期純利益	5,169	1,927

ビーエス・アイ：累積損失 26,136百万円

個別損益計算書

(単位:百万円)

	04年3期			03年3月期		
	金額	前年比	増減率	金額	前年比	増減率
売上高	256,663	900	0.3%	257,564	11,230	4.2%
営業利益	19,503	356	1.8%	19,860	5,368	21.3%
経常利益	21,896	26	0.1%	21,923	3,161	12.6%
当期純利益	4,028	5,094	55.8%	9,123	4,719	34.1%

個別収入内訳

(単位:百万円)

	04年3月期		
	金額	前年比	増減率
テレビ事業	231,920	2,084	0.9%
(タイム)	117,559	971	0.8%
(スポット)	101,110	185	0.2%
(テレビその他)	13,250	927	6.5%
その他	24,743	1,183	5.0%
(事業)	20,120	2,215	12.4%
(不動産)	4,623	1,031	18.2%
収入合計	256,663	900	0.3%

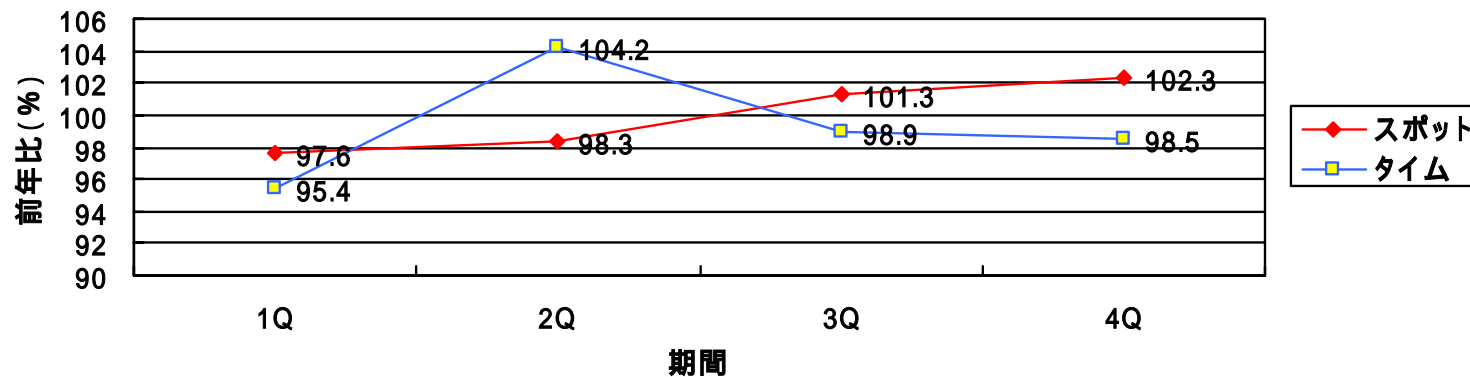
上記「タイム」収入は「タイム」と「番組制作費」の合計額

個別テレビ収入 (前年比)

(単位：%)

項目	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
スポット収入	97.6	98.3	97.9	101.3	102.3	101.7	99.8
タイム収入	95.4	104.2	99.6	98.9	98.5	98.7	99.2

テレビ収入前年比推移



業種別スポット・通期売上順位

(単位：%)

	2003年度	前年比	シェア	2002年度	前年比	シェア
1	化粧品・トイレットリー	95.1	11.5	化粧品・トイレットリー	110.0	12.1
2	食品	95.9	11.3	食品	97.1	11.8
3	酒・飲料	95.9	10.9	酒・飲料	80.6	11.4
4	医薬品	93.4	8.0	医薬品	95.0	8.6
5	自動車	87.8	7.0	自動車	109.2	7.9
6	金融	104.8	6.8	金融	85.5	6.5
7	通信放送	97.4	6.1	エンターテイメント	106.5	6.3
8	総合電気機器	107.4	6.1	通信・放送	76.9	6.3
9	エンターテイメント	89.6	5.6	総合電気機器	120.2	5.7
10	精密機器・事務機	109.3	5.3	精密機器・事務機	146.6	4.9

順位は金額順

業種別スポット・第4四半期実績

(単位：%)

	第4四半期	前年比	シェア
1	酒・飲料	105.9	10.5
2	教育・通販・マスコミ	120.3	9.0
3	化粧品・トイレタリー	106.7	8.5
4	金融	134.6	8.4
5	食品	79.4	8.4
6	自動車	92.9	8.1
7	医薬品	91.9	6.2
8	通信・放送	83.6	6.0
9	精密機器・事務機	106.6	5.9
10	流通	113.1	4.8

順位は金額順

個別 事業収入実績

(単位：百万円)

項目	金額	前年比	増減率	内訳（前年比）
ソフト・ライセンス	7,675	2,293	42.6%	ソフト 4,655 (+ 2,191) ライセンス 3,020 (+ 101)
番組販売	6,223	443	7.7%	国内 3,982 (+ 159) 海外 1,114 (73) BS/CS他 1,127 (+ 357)
メディアコマース	1,216	223	15.5%	
催事等の事業	5,004	298	5.6%	
合計	20,120	2,215	12.4%	

ソフト部門売上ベスト10

(単位：千本)

	タイトル	販売本数	累計本数
1	8時だよ！全員集合(D)	630	
2	グッドラック(D)	193	
3	木更津キャッツアイ(D)	181	273
4	池袋ウェストゲートパーク(D)	102	258
5	〃 ・スープの回(D)	44	
6	マンハッタンラブストーリー(D)	80	
7	グッドラック(V)	31	
8	Stand Up!!(D)	55	
9	きみはペット(D)	44	
10	世界遺産(D)	51	136

(順位は金額順)

テレビ番組制作費

(単位：億円)

	2003年度	2002年度	前年比
上 期	603	593	10
下 期	587	588	1
通 期	1,190	1,181	9

上期はスポーツ関連コストの増加等により前年実績上回る。

下期はコスト削減努力もあり前年並み。

通期では0.8%の増加。

(参考)テレビ番組制作費に含まれる主な費用：

直接費（制作番組費、業務委託費、ギャランティ等）

間接費（人件費、美術制作費、技術制作費、減価償却費等）

設備投資と減価償却

(単位:百万円)

連結	03年度実績	前年比	04年度見込	前年比
設備投資	19,158	5,353	27,500	8,342
減価償却費	9,990	32	13,500	3,510

個別	03年度実績	前年比	04年度見込	前年比
設備投資	18,103	6,078	26,500	8,397
減価償却費	9,185	112	12,500	3,315

2003年度・視聴率実績

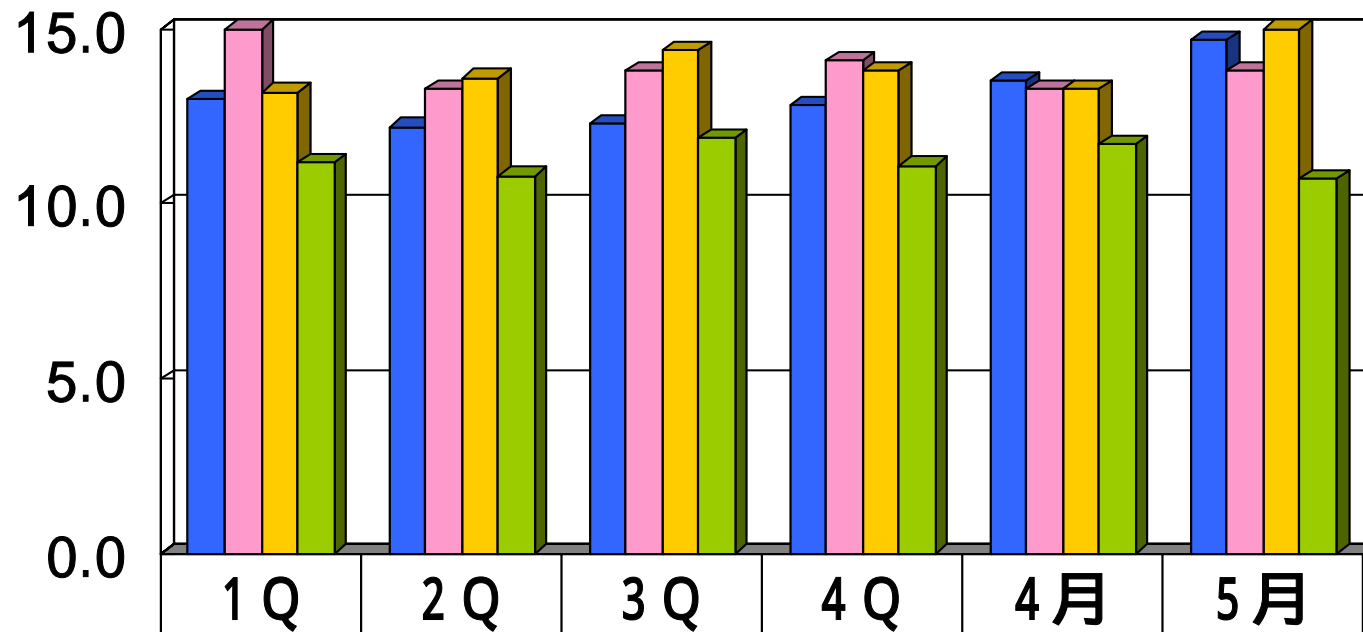
(週ベース)

(単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム
TBS	7.7	12.6	12.5
日本テレビ	9.7	14.1	13.9
フジテレビ	9.2	13.8	14.2
テレビ朝日	7.2	11.3	12.1

年間を通じ大型単発スペシャルが好調に推移
年度後半はドラマの話題作・大作が登場
K1ダイナマイトは紅白を抜く快挙

G帯視聴率推移



■ TBS	13.0	12.2	12.3	12.8	13.5	14.7
■ 日本テレビ	15.0	13.3	13.8	14.1	13.3	13.8
■ フジテレビ	13.2	13.6	14.4	13.8	13.3	15.0
■ テレビ朝日	11.2	10.8	11.9	11.1	11.7	10.7

(5月は23日までの平均)

レギュラー番組ベスト10

(単位: %)

	番組	曜日	平均視聴率
1	日曜劇場・砂の器	日9	19.6
2	関口宏の東京フレンドパーク2	月7	17.9
3	ブロードキャスター	土10	16.3
4	日曜劇場・元カレ	日9	15.7
5	こちら本池上署	月8	15.5
//	水戸黄門・第32部	月8	15.5
7	中居正広の金曜日のスマたちへ	金9	15.2
8	月曜ミステリー劇場	月9	15.0
9	日曜劇場・末っ子長男姉3人	日9	14.5
10	世界・ふしぎ発見!	土9	14.3
//	ホットマン	木9	14.3

次期の環境要因分析

広告市況の環境好転
退職給付の数理差異は戻し入
前期視聴率の影響
設備取得で増える減価償却費
高騰するスポーツ放映権料
赤坂再開発は着工段階

テレビ収入予想（個別）

	上期	下期	通期
スポット	105.0%	101.5%	103.2%
タイム	98.3%	101.8%	100.0%

次期業績予想

(単位:百万円)

連 結	上 期	下 期	通 期		
			合計	前年比	前年比%
売上高	147,000	149,000	296,000	985	100.3
営業利益	7,500	13,000	20,500	4,771	81.1
経常利益	7,500	12,500	20,000	3,903	83.7
当期純利益	5,500	7,500	13,000	8,924	318.9

個 別	上 期	下 期	通 期		
			合計	前年比	前年比%
売上高	128,000	129,000	257,000	337	100.1
営業利益	6,000	10,500	16,500	3,003	84.4
経常利益	7,500	10,000	17,500	4,396	79.9
当期純利益	5,500	6,500	12,000	7,972	297.7

当面の経営戦略と新会社

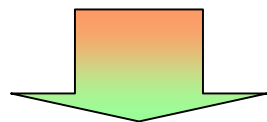
代表取締役社長
井上 弘

2004年度の経営課題

テレビ3分社の統合による番組活性化
人材の確保と制度改革
赤坂再開発プロジェクトの推進
地上デジタルとキャッシュフロー重視の経営
デジタル時代ならむJNN系列の体質強化

分社体制の総括と新会社

ラジオは増収増益で著しい成果
テレビ3分社はコスト意識、経営マインド浸透



2004年10月 新会社発足へ

テレビ3分社を統合（報道・技術等の実務も担う）
効率的で一体感もった番組制作
デジタル時代に備えた優秀な人材確保



番組活性化へのロードマップ



橋田壽賀子ドラマ
渡る世間は鬼ばかり



水曜プレミア 順調な滑り出しで狙いは的中
朝・昼ベルト枠の強化が緊急課題
編成戦略は「柔軟かつ大胆」「守りから攻め」に
より効率的な一体感もった番組制作



人材の確保と制度改革



社員数1,300人台確保
人事制度の見直し
年金制度の検討



What's New 赤坂 期開発

1万坪社有地の有効利用と
安定収入確保
不動産セグメントの基幹事業
赤坂地区の再活性化

総事業費：7百数十億円
予想売上高：約100億円
予想CF：50～60億円
2008年1月ウイスタ-完成予定

中期経営計画

**本格化する地上デジタル時代
JNN全体も経営体質を強め
次世代ビジネスモデルを確立**

連結営業キャッシュフロー増大で持続的成長

「2008年度 300億円達成で株主価値向上へ」

TBSブランディングの推進

「深い感動と信頼される情報を世代を超えて届ける」

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。

お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂五丁目3番6号

株式会社 東京放送

経営企画局 IR推進室

TEL : 03-5571-2411

FAX : 03-5571-2020

この窓は、キミのもの。 TBS